

阿曾浦漁場環境調査

観測日時

令和6年 6月 11日 火曜日 9時00分

天候 晴れ

観測 南島種苗センター

観測地点 (水深)	水深 (m)	水温 (°C)	溶存酸素 (mg)	比重 (‰)	プランクトン (細胞/ml)	
1. 岸信夫 さん前 (16.5)	1	21.3	6.9		珪	50
	3	22.7	6.9	33	珪	780
	5	22.3	6.8		珪	0
2. 大江 (14.1)	1	23.6	6.4		珪	0
	3	22.5	6.4	33	珪	0
	5	22.2	6.4		珪	0
3. 道方 (10.8)	1	24.3	5.6		珪	0
	3	23.3	6.2	33	珪	0
	5	22.6	6.4		珪	0
4. 毛無 (17.9)	1	23.5	6.3		珪	120
	3	22.5	6.3	33	珪	70
	5	22.1	6.3		珪	20
5. この浦 (中央) (13.8)	1	23.3	6.8		珪	0
	3	22.4	6.7	33	珪	100
	5	22.2	6.7		珪	0
6. この浦 (奥) (9.8)	1	23.6	6.1		珪	200
	3	23.0	6.4	33	珪	80
	5	22.7	6.4		珪	0
7. テラマル (18.6)	1	22.0	6.1		珪	140
	3	21.8	6.1	33	珪	0
	5	21.4	6.4		珪	0
8. カマバ (12.3)	1	22.3	6.0		珪	0
	3	21.7	6.5	33	珪	0
	5	21.5	6.4		珪	0

備考 「珪」は珪藻類です。(二枚貝の餌等になります。)

今回検出された珪藻類の種類については「キートセロス属」と「グイナルディア フラシダ」が多数でした。

※比重(塩分濃度)は塩分濃度計(ATAGO MASTER-S/Mill α)で測定し、値は‰(パーミル)表記とさせていただきます。
南伊勢町沿岸域の海水の塩分濃度は33‰前後が基準となります。